

## 栃木市人権施策推進審議会 会議録

### 会議の概要

開催日時	令和4年7月4日（月）16時00分から17時05分まで	
開催場所	栃木市役所 3階 正庁A	
出席者の氏名	委員	高松恵子（宇都宮地方法務局栃木支局） 谷中慶子（栃木市女性団体連絡協議会） 関口茂一郎（栃木市人権擁護委員協議会第一部会） 坂本邦雄（栃木市身体障がい者福祉会） 後藤聡子（栃木市社会教育委員） 大森悦子（栃木市PTA連合会） 野口邦子（栃木市民生委員児童委員協議会連合会） 大嶋弘子（栃木市国際交流協会） 大関麻由子（栃木県弁護士会） 田中光重（公募委員） 川田 薫（部落解放同盟栃木市協議会） 菊地由起（公募委員） 染谷 充（部落解放愛する会栃木市協議会） 白石幹男（市議会） 大出美江子（とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会）
	事務局	瀬下昌宏（生活環境部 部長） 渡辺由夫（人権・男女共同参画課 課長） 小林晴美（人権・男女共同参画課 係長） 斎藤恵（人権・男女共同参画課 主任）
議題	(1) 会長、副会長の選任について (2) 栃木市人権施策推進プラン第3期計画について (3) その他	
傍聴人の数	0名	
配付資料	次第 栃木市人権施策推進審議会委員名簿 栃木市人権施策推進プラン第3期計画策定方針 意識調査（素案） 第3期計画策定にあたって 意見等報告書	

議事要旨

発言者	発言要旨
事務局	<p>それでは定刻過ぎましたので、ただいまから第1回栃木市人権施策推進審議会を開会いたします。</p> <p>次第に沿って審議会を進めさせていただきます。はじめに、栃木市から瀬下生活環境部長よりご挨拶申し上げます。</p>
生活環境部長	(あいさつ)
事務局	<p>続きますして議題に入りたいと存じますが、委員改選後初めての審議会となりますので、恐れ入ります。お手元の資料審議会委員名簿の順番で自己紹介をお願いしたいと思います。</p>
各委員	(自己紹介)
事務局	<p>続きますして、事務局の職員につきましても、自己紹介により紹介させていただきます。</p>
事務局	(自己紹介)
	会長・副会長の選任
事務局	会長、それでは議長として会議の方をお願いいたします。
議長	<p>では議題(2)人権施策推進プラン第3期計画について、皆様の意見を伺う前に、内容について事務局の方からお願いいたします。</p>
事務局	<p>栃木市人権施策推進プラン第3期計画策定方針については、国の基本計画、県の基本計画、それから栃木市の総合計画、市の関連計画等との整合性を取りながら作成していくこととなります。</p> <p>第3期計画の作成は、今年度市民意識調査を実施し、来年度に計画策定というスケジュールで行います。基本方針につきましては、平成28年に施行された障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法などの人権に関する法規やSDGsの趣旨等を踏まえて、計画に反映させることといたしております。</p> <p>今回の会議では、第3期計画策定の説明についてと市民意識調査についてのご意見をいただきたいと思っております。</p>
議長	<p>ただいま事務局から説明がございました。</p> <p>まず、第3期計画の基本理念で皆さんからご質問なり意見がありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>第2期計画の基本理念はよいと思いました。ただ一つ気になったのが、一部主語がなかったところです。</p>
議長	はい、事務局どうですか？

発言者	発言要旨
事務局	アンケートの意見や、庁内での会議等でも意見を頂き、その中で調整させていただきたいと思います。
議長	次に市民意識調査の内容について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>市民意識調査について、前回は平成 29 年 9 月に実施しておりまして、これは第 2 期計画を作る前年に実施したものです。前回からの変更点として、対象年齢 20 歳以上のところを今回 18 歳以上に、また、対象人数を市民 3,000 人のところを 2,000 人として、回収方法について郵送に加えて電子申請システムを利用することで、スマホやパソコンから回答ができるようにしたいと思います。</p> <p>質問項目については、前回は 42 問だったところ、今回 20 問に精査させていただきました。令和 3 年 1 月の県民意識調査、令和元年 8 月の法務省人権擁護局で行った部落差別の実態調査、さらに、平成 29 年、5 年前に行った市民意識調査とも比較ができるような項目となっています。</p>
議長	意識調査について、皆さん、いかがでしょうか？
委員	5 ページの問 7 の性的指向について、LGBT の記載が LGBT 等と記載があるところで、LGBTQ+とかいろいろと幅を広げている傾向が増えていると思うのですが、このように限定している理由がありますか？それともまだ選択肢がございませうか？
事務局	前回 5 年前の記載と同様にしてあるところですが、LGBT 等ということで、LGBTQ+の部門も含めていて考えています。表記については検討させていただきます。ありがとうございます。
委員	<p>4 ページ、問 5 の（10）ですが、災害に伴う人権問題のところ、避難所の事が中心に書かれているようなインパクトというか、イメージで伝わるのですが、長期的な視点も、そこに含めていただきたいと思います。前回、お話をさせていただいた記憶がございませう。これだと、そこが少し見えにくいかなというふうに思うのですが、いかがでしょうか？</p> <p>多分受け取り方のイメージだと思うのですが、この避難所での処遇、その続きに・(ポチ)で誹謗中傷という形になっているので、避難所限定なのかなというようなイメージを記入する側としては受け取ってしまいがちなかなと。でも、実際に水害にあった人間としては、復興に関してかなり長期戦になっているところもございませう、もう少しその辺の視点を含めて、記入できる場所があると嬉しいなという話をさせていただいたと思っているのですが。</p>
事務局	具体的にどのような言葉があるか、教えていただければと。

発言者	発言要旨
委員	<p>そうですね。災害時に避難所で起きている事態についてのメンテナンスとか、サポートというのは非常に重要なことだと思っています。ただし、皆さん、自宅に戻られたあとや自宅の改修やその水害と向き合っていた方たちの心の支援なり、その実際にエリアごとにそういう非難、それから中傷を受けたエリアもございますので、そういうことに対しての聞き方となると…もう少しその避難所という限定したとらえ方ではなく、被災地とか、被災地域とか、幅を広げて、避難所プラス被災した地域というような含め方をしていただけると、記入する側としては、嬉しいと思います。</p>
事務局	<p>わかりました。ここも内部で精査したいと思います。ありがとうございます。</p>
議長	<p>他にはいかがですか？</p>
委員	<p>前回、平成 29 年に行ったアンケート調査では、対象者が 20 歳以上で 3,000 人、今回は 18 歳以上で 2,000 人ということで、数が随分少なくなっているということと、対象者が 18 歳以上と幅が広がったにも関わらず、数が少ないというのは何か？それでも充分だということなのか、そのところをお伺いさせていただきたい。</p>
事務局	<p>2,000 人に対象人数を落としたとしても、結果は前回は 37.5%だったので、それと同程度の回収率があれば、信頼できる数字ということなので、2,000 人で実施を考えております。ちなみに去年、小山市でも 2,000 人対象で行っているということですので、こちらとしては 2,000 人で大丈夫と考えております。</p>
委員	<p>全体的にこの少数で差のない中身なのですが、1 番から 5 番ぐらいまでは比較的一般の方でも理解できるのかなと思うのですが、6 番以降につきましては、絞られているような感じがするのと、もう一つは結構難しい。一般の方がこのアンケートに答えるのに、どれぐらい色々ご存知なのかなと思うのですが、私自身なんかもこのアンケートを見ていきなり答えていくには、内容的には少し難しいんじゃないのかな、もう少し簡素化した内容の方が、私はいんじゃないかと思うんですね。</p> <p>また、6 番以降、それから 9 番以降の設問が、若干偏り過ぎているような、皆さんの方にこう問いかけしているような内容に感じられるんですね。</p> <p>ですから、一般の方から、アンケートに答えていただくのでしたら、内容をもう少し簡素化した方がいいのではないかと、思うのですが。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます。どうですか？事務局の方。</p>

発言者	発言要旨
事務局	やはり県民との意識調査とか、法務省がやった調査との比較を考慮し、前回 42 項目あったところを 20 間に精査したところなので、項目的にはこれぐらいはお願いできないかなと思っています。掘り下げたいところもありまして、このような調査項目になっています。工夫できるところは工夫していければと思っています。 よろしくをお願いします。
議長	どうですか？大丈夫ですか？
委員	それでは、意見として、そういう意見がありますので検討してください。
事務局	はい、ありがとうございます。
議長	他の方から何か別の意見はいかがですか？
委員	あの先ほど 6、7、8 で難しいんじゃないかというご意見があったのだけど、今の社会的にはそのジェンダー平等っていうのが、大きく叫ばれていて、これは今の社会世相を表しているのではないかと思うのです。難しいかもしれないけれど、きっかけかなと思っています。それと別の問題、問 1 で、人権侵害を受けたことがあると答えた人に 2 ページで、どこで受けたかとか、どのような内容だったかと聞いているのだけど、具体的にどういふふうに対応したのかは聞いてない。「ある」と答えた人がどういふふうに対応したか、問 2 では、もしあなたが人権を侵害された場合、どのような対応しますか？ということを知っているが、実際、人権侵害を受けた人がどういふふうに対応したか、ぜひ聞いておくべきかなと思うんですがいかがでしょうか？
事務局	ご指摘の通りだと思いますので追加したいと思います。ありがとうございます。
議長	どうもありがとうございます。その他で、ご意見ありますか？

発言者	発言要旨
委員	<p>これは文章のことではないのですが、今の話と少しつながっているところで、1 ページ目の「人権についてのお考えをお伺いします。」とスタートするところに、人権というものは、そもそも何ぞやという部分がいくつかありますよね。そこのところが、多分先ほど他の委員からも出ていた、自分の身に落として人権って一体何なのだろうというところが少し分かりづらいのかなと。これは人権に関するアンケートではあるのですが、私たちは人権というものをしっかり自分自身を支えるものになっているということがもう少し平たく、インパクトのあるところで書き込むことができたら、自分にもそういう権利があるのだということをしっかり落とすことができるのではないのかなと思いました。</p> <p>国のホームページとかを見ると、もう少しこう分かりやすい言葉でまとめるところがあり、そういうのを少し引用するのはどうなのかなと。すみません、ちょっとイメージ的なところで申し訳ないのですが。</p>
事務局	表現を考えてみたいと思います。ありがとうございます。
議長	はい、ありがとうございます。 他の審議委員さんはどうですか？
委員	人権と言ってもやはり知らないというか、なんかあまり自分ではそんなに考えないという方が多いと思うのです。市民の方々ね。それでやはりその人数を 3,000 人から 2,000 人じゃなくて、やはりもっと多くの方々にもこういうのがあるということを知るためにも、人権啓発にもなると思うので、もう少したくさんの方に回答してもらえたらいいのではないかと思います。
事務局	すみません、予算もありまして。ちょっと精査してもし増やせるようでしたら、頑張りたいと思いますので申し訳ないです。ありがとうございます。
委員	先ほど調査の方法として、SNS というか、スマホを使ってもやれるという話でしたが、それは、2,000 人の中で、限定して、その中でじゃあスマホで回答しますよというやり方をするわけですか？
事務局	どちらでも選べるということで案内する予定です。郵送で送り、紙ベースで返信用封筒に入れて送り返すか、または、QR コードを付けまして、そこからサイトに入り回答できるような形のどちらか選んでくださいということにしようと思っています。ある程度の数把握できないと、返信用封筒代等の郵送料が予算化されている分しかないなので、その辺が考慮しなければならぬところだと思っています。
委員	<p>予算の関係でね、2,000 人に絞るというのだったら、それをスマホとかでやれば郵送料はかからないわけだから。そこらへんは別枠でやるとか。そういうのもあるのではないかと今、感じたところです。</p> <p>検討をお願いします。</p>

発言者	発言要旨
委員	<p>先ほどの 3,000 人から 2,000 人へという数字なのですが、その前に 3,000 の時に回収が 37.5%しか回答をもらってないということの方が問題じゃないかなと思う。2,000 にして、そのぐらい、もっと減る可能性もありますし、それだったらもっとこの人権のアンケートを回答しやすい方に持って行く方がいいのではないかなと思うのですが？</p> <p>多く回答して返信してもらう工夫が必要なのではないかなと思います。</p>
事務局	<p>今回、電子申請システムの方も活用を考えておりますので、若者はそちらのシステムを使うとうことも考えられると思います。</p> <p>問題数も前回は 42 問というところを 20 問に減らして回答しやすいようにしているところで、回答しやすくするつもりでおりますし、先程からの文言等も、工夫しながら進めてまいりたいと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。他にいかがでしょうか？</p> <p>皆さんの方の意見がなければ、今までの意見をもとに進めていただくということで。</p> <p>続いて、今日の議題（3）その他について事務局の方から何かあればどうですか？</p>
事務局	<p>次回開催についてですが、次回は市民の意識調査を行った結果が出ましたら、改めて開催する通知を送りたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございます。皆さんの方から何かありませんか？</p> <p>それでは、本日の議題は全て終了いたしました。これをもちまして議長の職を解かせていただきます。</p> <p>皆様のご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>議長、ありがとうございました。</p> <p>本日の審議会での貴重なご意見等は、審議会の見解としまして、栃木市人権施策推進プラン第3期計画策定を進めてまいりたいと思います。</p> <p>それでは以上をもちまして、第1回栃木市人権施策推進審議会を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。</p>
	閉会